

登録コード	J6230200	開講年度	2026				
授業科目	先鋭領域融合群講義（先端科学技術概論）				担当教員	丸橋 昌太郎	
英文授業名	Advanced Science and Technology				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・ 5 時限 水曜・ 6 時限	対象学年	（23カリ対象科目）法：2年
講義室	経法第 1 講義室		授業区分	講義	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」			【授業の達成目標】		
		経法23加（2026改）・総合法律，経法23加・総合法律					
		環境問題や，企業や行政の組織内において，日々生起する諸問題について，理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち，総合的に解決していくことのできる能力を身につける。			現代社会の日々生起する諸問題について，理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち，総合的に解決していくことのできる能力を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」		地域運営、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム		ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース					
(4)授業の概要		地域の課題は、一つの分野だけで解決できることはほとんどありません。これらの多様な専門分野が力を合わせたときに、はじめて真の解決につながります。 本授業では、信州大学の教員が取り組む課題をベースに、各専門分野の思考方法等を幅広い分野から講義する。					
(5)授業計画		1 ガイダンス 2 科学技術総論 3 情報工学分野の現在 1 4 情報工学分野の現在 2 5 先端医療分野の現在 1 6 先端医療分野の現在 2 7 地域デザイン分野の現在 1 8 地域デザイン分野の現在 2 9 データサイエンス分野の現在 1 1 0 データサイエンス分野の現在 2 1 1 地域法務の現在 1 1 2 地域法務の現在 2 1 3 ロボティクス分野の現在 1 1 4 ロボティクス分野の現在 2 1 5 まとめ、授業アンケート					
(6)成績評価の方法		各分野の授業内で出す課題の取り組みで評価する。 成績評価は、絶対評価（ 6 0 点～可、 7 0 点～良、 8 0 点～優）と相対評価（上位10名を秀）とする。					
(7)成績評価の基準		科学技術に関する必要最低限の知識と考え方を身につけており、授業中に示される事例の問題点を指摘できるようになれば、授業の達成目標に達したといえる（60～69点）。過不足のない知識を身につけ、授業中に示される事例を理論的に分析できるようになれば、水準よりも上回る（70～79点）。十分な知識を身につけ、授業中に示される事例を理論的に分析でき、解決まで考えられればさらにその水準を上回る（80～89点）。それ以上の理解・分析・解決ができ、実生活で実践できれば卓越している（90点以上）。					
(8)事前事後学習の内容		授業内で指示する。					
(9)履修上の注意		特になし。					
(10)質問,相談への対応		授業内で対応する。					
【教科書】		特になし					
【参考書】		特になし					